



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校
《校長室だより》
発行：校長 寺田 好江
令和元年度 第 27号
令和元年 11月26日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

本物にふれる体験を通して[3]被爆者の体験談を聞いて…

11月25日(月)6年生の社会科の授業の一環として、被爆体験についての講話を聞く授業を行いました。3歳の時に広島で被爆された中村さんは、写真や資料で当時のことについて話をしてくださいました。「答えのない質問をします。」とあなたならどうするかと聞かれ、真剣に考える子供たちでした。6歳の時に広島で被爆した小谷さんは、「あっちゃん」という腹話術の人形と一緒に当時のことを話してくださいました。折しも、フランシスコ教皇が来日中で、24日(日)には長崎・広島を訪問したニュースが流れる中、実際に被爆をした方たちの「本物の話」を聞くことができ、一人一人の心にしっかり響いたのではないかと思います。

- * 熱線や爆風で人がどんどん亡くなっていく、一瞬で町が変わってしまったことを話してくれてよく分かった。この時代に生まれて良かったと心から思う。でもぼくたちがこれからどんな世界にしていけるのか、しっかり外国の人とつながっていかなければいけないと思った。
- * 原爆を落とされた日本だからこそ伝えていかなければならないし、私たちちゃんと次の世代に伝えていくことが一番大事だと思った。
- * 戦争で良いことは一つもないし、多くの人がなくなったことも勉強してわかってはいたけれど、今日改めて話を聞いて、戦争は絶対に起こしてはならないと強く思った。
- * 「アメリカのことは恨んでいない。ただ核兵器をこの世界からなくして平和な世界を作ってほしい。憎しみからは何も生まれない」という言葉が心に残りました。



朝ごはんを「必ず毎日食べる」と答えた児童は90.3%でした

毎年、千葉県教育委員会の調査で児童生徒の朝食欠食状況のアンケートがあります。「必ず毎日食べる」「1週間に1～3日食べないことがある」「1週間に4～5日食べないことがある」「ほとんど食べない」の4つの選択肢です。昨年度、92%の児童が「必ず毎日食べる」と回答していましたが、今年度は90.3パーセントになっていました。数字ではわからないことがたくさんあると思いますが、学校としては危惧しています。寝坊して食べないことはあっても、「1週間に4～5日食べない」「ほとんど食べない」と回答する児童がいる事実を、御家庭にもお知らせしなければならぬと思いました。

朝食を食べて登校すると、脳が活性化することは医学的にも証明されています。「早寝・早起き・朝ごはん・うんち」を合言葉に、各御家庭で朝の忙しい時間の工夫について考えて頂ければありがたいです。

私も朝7時の保育園開園時刻と同時に子供たちを預けていて、朝ごはんはほとんどおにぎりでした。前の晩のおかずで、具になるものをとっておいたりしながら、作っていたのはもう20年以上前！車の中で食べさせていたことを思い出します。子育ては大変です。が、今思うとあっという間に過ぎてしまったように思います……。